

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月2日

上場会社名 栗林商船株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9171 URL <https://www.kuribayashishosen.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗林 宏吉  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 小谷 均 (TEL) 03-5203-7982  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	22,800	△2.0	392	△62.4	506	△55.8	486	△51.4
30年3月期第2四半期	23,269	7.0	1,042	8.3	1,147	14.9	999	65.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 986百万円(△47.5%) 30年3月期第2四半期 1,877百万円(212.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	38.62	—
30年3月期第2四半期	79.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	56,059	21,328	32.4
30年3月期	54,966	20,430	31.4

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 18,148百万円 30年3月期 17,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
31年3月期	—	0.00			
31年3月期(予想)			—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	46,000	0.1	1,400	△25.9	1,600	△20.2	1,300	△15.0	103.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	12,739,696株	30年3月期	12,739,696株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	152,619株	30年3月期	151,645株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	12,587,615株	30年3月期2Q	12,590,672株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 最近における四半期毎の業績の推移(連結)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。先行きは不透明感が増しております。海外においては、米国経済は雇用環境の改善で消費マインドが回復し、欧州でも内需は底堅さを維持しておりますが、中国と米国との通商問題の影響、複雑な中東情勢、新興国経済の動向など予断を許さない状況は続いております。

この様な経済情勢の中で当社グループは、海運事業においては近海航路は堅調に推移しておりますが、北海道定期航路では燃料費の上昇や大宗貨物の紙製品の減少、相次ぐ台風の来襲や北海道胆振東部地震の影響で、減収・減益となりました。

ホテル事業においては、訪日外国人客数の増加を背景に経営環境は堅調であります。耐震補強工事と客室改装による客室減室に加え、続発した自然災害による多量のキャンセルによって、減収・減益となりました。

不動産事業は概ね順調に推移しております。

以上の結果、売上高が前年度に比べて4億6千8百万円減(2.0%減)の228億円、営業利益が前年度に比べて6億5千万円減(62.4%減)の3億9千2百万円、経常利益が前年度に比べて6億4千万円減(55.8%減)の5億6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年度に比べて5億1千3百万円減(51.4%減)の4億8千6百万円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

#### (海運事業)

海運事業の内、北海道定期航路では、今年5月末に航路改編を行い、清水への定期航路開設と大阪への増便を開始し、雑貨や商品車両の集荷に積極的に取り込んでまいりましたが、燃料油の上昇や、相次いで発生した台風や北海道胆振東部地震の影響で収益は落ち込みました。近海航路については市況は回復基調にあるものの収益力はまだ弱い状況が続いておりますが、三国間定期航路は堅調に推移いたしました。これらの結果、売上高は前年度に比べて2億7千3百万円減(1.3%減)の215億4千4百万円となり、営業費用は前年度に比べて2億7百万円増(1.0%増)の212億5千5百万円で、営業利益は前年度に比べて4億8千万円減少の2億8千9百万円となりました。

#### (ホテル事業)

訪日外国人個人旅行者の増加や好調な国内需要を背景に経営環境は概ね堅調に推移しておりますが、耐震補強工事と客室改装による客室減室や相次ぐ自然災害による訪日外国人の一時的な減少、北海道胆振東部地震による多量の宿泊キャンセル等によって、売上高は前年度に比べて1億9千5百万円減(17.0%減)の9億5千4百万円となり、営業費用は前年度に比べて2千3百万円減(2.3%減)の9億7千7百万円で、営業利益は前年度に比べて1億7千2百万円減少の2千2百万円の営業損失となりました。

#### (不動産事業)

前年度と同様に順調に推移しており、売上高は3億4千1百万円となり、営業費用は2億1千5百万円で、営業利益は1億2千5百万円と前年度並で推移しました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産の残高は、現金及び預金など流動資産が増加したことや保有株式の時価の上昇などによる投資有価証券の増加等により、前期末に比べて10億9千2百万円増加の560億5千9百万円となりました。

負債の残高は、長期借入金が増加したこと等により、前期末に比べて1億9千5百万円増加の347億3千万円となりました。

純資産の残高は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したこと等から、前期末に比べて8億9千7百万円増加の213億2千8百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べて1億1千4百万円増加し、68億3千1百万円となりました。各キャッシュ・フロー状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって得られた資金は、15億7千8百万円となりました。その主要因は、税金等調整前四半期純利益及び売上債権の減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によって支出された資金は、13億1千2百万円となりました。その主要因は、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によって支出された資金は、1億5千4百万円となりました。その主要因は、長短借入金の返済及び社債の償還による支出等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の連結業績につきましては、ホテル事業で実施している耐震補強工事に関する耐震改修事業補助金の交付を第4四半期会計期間に見込んでおりましたが、その補助金の一部が当第2四半期会計期間に交付され、1億8千1百万円を特別利益に計上しましたので、親会社株主に帰属する四半期純利益に差異が生じました。

なお、通期連結業績予想につきましては、現時点におきましては平成30年5月11日に公表しました業績予想から変更はありません。

平成31年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	500	600	300	23.83
今回発表実績(B)	22,800	392	506	486	38.62
増減額(B)-(A)	△200	△108	△94	186	—
増減率(%)	△0.9	△21.6	△15.7	62.0	—
(参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	23,269	1,042	1,147	999	79.41

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,189,653	7,321,925
受取手形及び売掛金	9,117,536	9,018,180
商品及び製品	48,190	48,338
原材料及び貯蔵品	223,679	291,321
未収入金	337,519	481,497
その他	318,400	336,577
貸倒引当金	△629	△414
流動資産合計	17,234,349	17,497,426
固定資産		
有形固定資産		
船舶	26,449,736	26,474,970
減損損失累計額	△502,000	△502,000
減価償却累計額	△19,534,208	△19,957,526
船舶(純額)	6,413,527	6,015,444
建物及び構築物	21,866,867	21,581,417
減価償却累計額	△16,995,078	△16,786,054
建物及び構築物(純額)	4,871,789	4,795,363
機械装置及び運搬具	10,362,379	10,409,848
減価償却累計額	△8,769,734	△9,021,638
機械装置及び運搬具(純額)	1,592,645	1,388,209
土地	9,470,971	9,470,971
リース資産	1,782,409	1,883,177
減価償却累計額	△1,035,168	△1,097,273
リース資産(純額)	747,241	785,904
建設仮勘定	734,621	1,549,658
その他	2,165,052	2,211,654
減価償却累計額	△1,813,841	△1,878,031
その他(純額)	351,211	333,622
有形固定資産合計	24,182,007	24,339,174
無形固定資産		
借地権	1,033,258	1,033,258
ソフトウェア	53,494	42,799
のれん	166,329	155,541
その他	52,886	44,989
無形固定資産合計	1,305,967	1,276,587
投資その他の資産		
投資有価証券	11,031,139	11,694,677
長期貸付金	793	749
繰延税金資産	269,935	288,785
保険積立金	493,738	515,425
その他	453,249	452,735
貸倒引当金	△35,489	△35,345
投資その他の資産合計	12,213,368	12,917,028
固定資産合計	37,701,343	38,532,790

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	30,536	28,835
繰延資産合計	30,536	28,835
資産合計	54,966,229	56,059,052
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,139,533	6,224,638
短期借入金	5,780,284	4,748,685
1年内返済予定の長期借入金	2,283,227	2,382,681
1年内期限到来予定のその他の固定負債	405,105	402,228
1年内償還予定の社債	1,143,160	763,160
リース債務	200,500	217,667
未払法人税等	482,159	353,905
賞与引当金	400,397	438,028
その他	1,061,601	923,233
流動負債合計	17,895,969	16,454,228
固定負債		
社債	978,200	989,120
長期借入金	5,619,903	7,147,176
長期未払金	4,124,226	3,951,578
リース債務	642,831	658,725
繰延税金負債	1,925,631	2,154,829
役員退職慰労引当金	708,443	728,305
退職給付に係る負債	1,999,888	2,052,228
負ののれん	439,677	399,133
その他	200,640	195,309
固定負債合計	16,639,440	18,276,406
負債合計	34,535,410	34,730,635
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,215,035	1,215,035
資本剰余金	946,704	946,704
利益剰余金	11,364,082	11,774,656
自己株式	△41,351	△41,947
株主資本合計	13,484,469	13,894,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,793,191	4,254,738
繰延ヘッジ損益	△1,196	△835
その他の包括利益累計額合計	3,791,995	4,253,902
非支配株主持分	3,154,353	3,180,066
純資産合計	20,430,819	21,328,417
負債純資産合計	54,966,229	56,059,052

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	23,269,002	22,800,075
売上原価	18,937,052	19,124,043
売上総利益	4,331,949	3,676,031
販売費及び一般管理費	3,289,032	3,283,764
営業利益	1,042,916	392,267
営業外収益		
受取利息	182	400
受取配当金	133,092	131,158
助成金収入	39,903	8,974
負ののれん償却額	40,544	40,544
持分法による投資利益	—	15,293
受取保険金	—	15,610
その他	73,128	48,958
営業外収益合計	286,852	260,940
営業外費用		
支払利息	133,433	119,475
その他	48,727	27,057
営業外費用合計	182,161	146,533
経常利益	1,147,607	506,674
特別利益		
固定資産処分益	474,895	5,797
保険解約返戻金	1,295	252
補助金収入	—	204,774
その他	2,856	9,166
特別利益合計	479,048	219,990
特別損失		
固定資産処分損	7,570	574
役員退職慰労金	5,622	—
仲裁裁定による損失	159,684	—
その他	2,054	533
特別損失合計	174,930	1,107
税金等調整前四半期純利益	1,451,725	725,558
法人税、住民税及び事業税	411,561	178,755
法人税等調整額	△63,247	11,481
法人税等合計	348,314	190,237
四半期純利益	1,103,411	535,320
非支配株主に帰属する四半期純利益	103,635	49,218
親会社株主に帰属する四半期純利益	999,775	486,102

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,103,411	535,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	773,251	450,381
繰延ヘッジ損益	457	360
その他の包括利益合計	773,709	450,741
四半期包括利益	1,877,120	986,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,730,623	948,009
非支配株主に係る四半期包括利益	146,496	38,052

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,451,725	725,558
減価償却費	1,234,154	1,156,989
のれん償却額	10,788	10,788
負ののれん償却額	△40,544	△40,544
貸倒引当金の増減額(△は減少)	269	△359
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,299	37,631
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,051	19,862
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11,472	52,340
受取利息及び受取配当金	△133,275	△131,559
支払利息	133,433	119,475
固定資産処分損益(△は益)	△467,325	△5,223
投資有価証券評価損益(△は益)	1,427	—
補助金収入	—	△204,774
持分法による投資損益(△は益)	—	△15,293
仲裁裁定に伴う損失	159,684	—
売上債権の増減額(△は増加)	△686,024	144,288
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,074	△67,790
仕入債務の増減額(△は減少)	231,092	105,956
その他	△226,612	△270,796
小計	1,683,642	1,636,549
利息及び配当金の受取額	133,275	131,559
利息の支払額	△131,144	△119,614
法人税等の支払額	△443,523	△274,606
補助金の受取額	—	204,774
仲裁裁定に伴う損失の支払額	△159,684	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,082,566</b>	<b>1,578,662</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,059,783	△1,281,735
有形固定資産の売却による収入	564,654	9,966
無形固定資産の取得による支出	—	△1,761
投資有価証券の取得による支出	△160,140	△9,159
その他	△3,305	△29,814
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△658,575</b>	<b>△1,312,504</b>

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	280,875	560,000
短期借入金の返済による支出	△215,000	△1,591,599
長期借入れによる収入	1,522,000	2,764,500
長期借入金の返済による支出	△1,139,354	△1,137,773
長期未払金の返済による支出	△319,035	△175,523
社債の発行による収入	—	394,073
社債の償還による支出	△604,080	△769,080
リース債務の返済による支出	△102,461	△110,526
自己株式の取得による支出	△658	△595
配当金の支払額	△75,548	△75,528
非支配株主への配当金の支払額	△11,633	△12,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△664,896	△154,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,267	3,105
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△237,638	114,871
現金及び現金同等物の期首残高	6,663,753	6,716,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,426,115	6,831,128

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,817,412	1,149,587	302,003	23,269,002	—	23,269,002
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	40,087	40,087	△40,087	—
計	21,817,412	1,149,587	342,090	23,309,090	△40,087	23,269,002
セグメント利益	769,250	149,425	124,241	1,042,916	—	1,042,916

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,544,313	954,378	301,383	22,800,075	—	22,800,075
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	39,942	39,942	△39,942	—
計	21,544,313	954,378	341,325	22,840,018	△39,942	22,800,075
セグメント利益又は損失(△)	289,043	△22,679	125,903	392,267	—	392,267

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 最近における四半期毎の業績の推移(連結)

## 平成31年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自平成30年4月1日 至平成30年6月30日	自平成30年7月1日 至平成30年9月30日	自平成30年10月1日 至平成30年12月31日	自平成31年1月1日 至平成31年3月31日
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	11,491	11,308		
営業利益	8	383		
経常利益	121	384		
税金等調整前四半期純利益	123	601		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	123	362		
1株当たり四半期純利益	円 9.79	円 28.82	円	円
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	55,589	56,059		
純資産	20,291	21,328		

## 平成30年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自平成29年4月1日 至平成29年6月30日	自平成29年7月1日 至平成29年9月30日	自平成29年10月1日 至平成29年12月31日	自平成30年1月1日 至平成30年3月31日
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	11,295	11,973	11,561	11,139
営業利益	181	861	657	188
経常利益	281	865	723	135
税金等調整前四半期純利益	127	1,324	755	176
親会社株主に帰属する 四半期純利益	91	908	413	116
1株当たり四半期純利益	円 7.27	円 72.14	円 32.83	円 9.24
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	54,774	54,550	55,815	54,966
純資産	18,125	19,438	20,824	20,430